

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 1871年、明治政府が近代制度を学ぶために欧米へ派遣した使節団を何という？ |
| 問2 | 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？ |
| 問3 | 県令とともに地方を直接統治する役割を担った、府を統治する役職を何という？ |
| 問4 | 明治政府が国民から兵士を確保するために発布した、満20歳以上の男子に兵役の義務を課した法令を何という？ |
| 問5 | 明治政府が廃藩置県を実施した年は何年？ |
| 問6 | 明治政府が中央集権化を進めるため、全国の藩主に命じて土地と人民を天皇へ返還させた制度を何という？ |
| 問7 | 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？ |
| 問8 | 1867年、江戸幕府第15代将軍として政権を朝廷に返上した人物は誰？ |
| 問9 | 新政府軍と旧幕府軍が激突した、明治維新の戦いの発端となる年は何年？ |
| 問10 | 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？ |
| 問11 | 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？ |
| 問12 | 明治政府が近代化のために進めた、産業を興して生産力を高めようとする政策を何という？ |
| 問13 | 五箇条の御誓文で掲げられた、広く会議を起こして多数決で政治を決めることを表す言葉は？ |
| 問14 | 戊辰戦争において、旧幕府軍が最後に立てこもり、激戦の末に降伏した北海道の城郭は何という？ |
| 問15 | 明治政府が国力を高め、軍勢力を強化して列強に並ぼうとした国家方針を何という？ |
| 問16 | 明治初期、西洋の生活様式や文化が取り入れられ、急速に社会が近代化した風潮を何という？ |
| 問17 | 大政奉還や王政復古の大号令の後、新政府軍と旧幕府軍が激突した戦いを何という？ |
| 問18 | 1871年からの身分制度の廃止により、かつての武士・農民・職人・商人の区別がなくなったことを何という？ |
| 問19 | 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？ |
| 問20 | 1867年に徳川慶喜が政権を朝廷に返したことを何という？ |
| 問21 | 藩を廃止して県を置き、中央から知事を派遣することで地方支配を強化した明治政府の政策を何という？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を全権大使とし、大久保利通や伊藤博文らが参加しました。一行はアメリカを経てヨーロッパ各国を回り、工場や議会、教育制度などを視察しました。日本が近代化するために必要な多くの知識を持ち帰りました。
問2	答え 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起きました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問3	答え 府知事	明治政府は東京・京都・大阪などの主要な都市を「府」とし、そこを治める長官として府知事を任命しました。また、その他の地方は「県」とされ、同様の役割を持つ県令が派遣されました。これらは中央政府の命令を地方に伝える行政の末端機関としての機能を持ちました。
問4	答え 徴兵令	1873年に出されたこの法令により、満20歳以上の男子は兵役の義務を負うことになりました。これにより、武士だけが戦う時代は終わり、国民皆兵の体制が整えられました。
問5	答え 1871年	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。藩を完全に廃止し、中央政府が任命した府知事や県令が地域を治める体制へ移行しました。これにより、地方の力は中央へと集中されることになりました。
問6	答え 版籍奉還	明治政府は中央集権体制を確立するため、1869年に藩主から土地（版）と人民（籍）を天皇に返還させました。これにより、名目上は全ての土地と人民が天皇のものとなりました。旧藩主は政府から知事に任命されましたが、実権は次第に中央へと移行していきます。
問7	答え 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を発布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問8	答え 徳川慶喜	徳川慶喜は、政権を朝廷に返上することで徳川家を中心とした新たな政治体制を築こうと画策し、1867年に大政奉還を断行しました。これにより約260年続いた江戸幕府は終焉を迎えました。
問9	答え 1868年	1868年、京都近郊の鳥羽・伏見において、新政府軍と旧幕府軍が激突しました。この戦いをきっかけに、日本各地を巻き込む戊辰戦争が本格化しました。当時の近代兵器を備えた新政府軍の勝利により、武力による政治の主導権が新政府側に確定しました。
問10	答え 富国強兵	富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。
問11	答え 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問12	答え 殖産興業	政府は最新の機械や技術を輸入し、官営模範工場を建設するなどしてモデルとなる産業を育成しました。また、交通網としての鉄道や電信の整備も積極的にを行い、民間企業の成長を後押ししました。
問13	答え 公論	「公論」とは、五箇条の御誓文の第一条にある「広く会議を興し、万機公論に決すべし」という言葉に含まれる概念です。これは、特定の支配層だけで物事を決めるのではなく、広く会議を開き、多くの人々の意見を聞いて議論を通じて結論を出すという、近代的な民主主義の芽生えを示す方針です。
問14	答え 五稜郭	五稜郭は、江戸時代末期に築造された日本初の本格的な西洋式城郭です。榎本武揚を中心とする旧幕府軍は、ここを拠点に「蝦夷共和国」の樹立を試みましたが、新政府軍の総攻撃を受けました。1869年に降伏し、戊辰戦争は完全に終結しました。
問15	答え 富国強兵	経済発展を目指す「殖産興業」と、強力な軍隊を育成する「富国強兵」をセットで推進しました。これにより、鉄道の整備、官営工場の設立、徴兵制の施行など、多角的な近代化策が実行されました。
問16	答え 文明開化	服装、髪型、食生活が変化し、レンガ造りの建物や新聞、郵便制度が登場しました。特に「学制」の施行や「太陽暦」の採用により、国民の生活や意識も近代的に変わっていきました。
問17	答え 鳥羽・伏見の戦い	1868年1月、京都南郊の鳥羽・伏見で両軍が衝突しました。軍勢力では勝と思われた幕府軍でしたが、薩長軍が掲げた天皇の象徴である「錦の御旗」により、新政府側が官軍と認定され、幕府軍は賊軍として敗走しました。
問18	答え 四民平等	「四民平等」は、かつて区別されていた士農工商の身分をなくし、すべての国民を法的に平等に扱う考え方です。これに伴い、平民の姓を持つことや、居住や職業の自由が認められるようになりました。
問19	答え 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川将軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問20	答え 大政奉還	1867年、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜は、朝廷に対して政権を返上しました。これにより260年以上続いた江戸幕府は終わりを迎えました。慶喜は政権を返上することで、天皇を中心とした新しい政府の中でも自身の政治的地位を維持しようとする狙いもありました。
問21	答え 廃藩置県	明治政府は1871年に廃藩置県を断行しました。全国の藩を廃止して府や県に改め、中央から政府が選んだ官吏である知事を派遣することで、国家による直接統治を実現しました。